



NEWS (PRESS) RELEASE

令和元年 8 月 27 日

志摩市教育委員会事務局学校教育課

タイトル	<u>市内の小学校に校務支援システムを導入し、 校務の効率化を推進します</u>
概要	○ 学校における働き方改革の一環として教職員の業務改善・業務負担軽減を推進し、教職員が授業研究や児童生徒を指導する時間を確保することにより、教育の質の維持向上を図ります。 <u>1. システム概要</u> (1) 市内小学校に下記の機能が組み込まれた校務支援システムを導入します。 名簿管理 出欠席管理 成績処理 通知表作成 指導要録作成 徴収金管理 東海小学校には、先行して の機能が導入済のため、今回は の機能を追加します。 (2) 中学校に関しては、すでに成績処理・通知表作成等にあたって表計算ソフトウェアによるシステムを使用していることから、今回は、財政面も考慮し、徴収金管理機能のみを導入します。今後、小学校と統一したシステムへ移行するための調整を行った上で導入します。 <u>2. 主な効果</u> (1) 情報システムの利用により校務における業務負担を軽減でき、情報の一元管理及び共有が可能となります。このことにより、次のような効果が見込まれます。 教職員が事務処理に要する時間を削減でき、子どもたちに向き合う時間や授業力向上のための時間の確保につながります。 校務支援システムを先行導入(平成30年度)した東海小学校での状況 ・ 出欠席管理 事務処理時間が3分の1に短縮(職員の平均) ・ 通知表作成 事務処理時間が2分の1以下に短縮(同) ・ 指導要録作成 事務処理時間が2分の1程度に短縮(同) 子どもたちの成績データ等を分析することにより、きめ細やかな指導につながります。 教職員間での情報共有や記録が的確・効率的にでき、教育活動や保護者への伝達に活かすことができます。 入力済データを他機能でも活用でき、業務の効率化や正確性を高めることができます。 市内各学校の校務の標準化を進めることにより、教職員の異動にあたっての引継や異動先で校務の遂行が円滑になります。



導 入 スケジュール	令和元年12月 校務支援システム導入 令和2年1月～3月 教職員対象講習会開催 仮運用・操作方法習得期間 令和2年4月 本格運用開始
そ の 他	
お 問 合 せ 先	志摩市教育委員会事務局 学校教育課 担当 澤田 真仁 TEL 0599-44-0336 FAX 0599-44-5263 e-mail ky-gakushido@city.shima.lg.jp